

『平成27年度(第2次) 街なか再生助成金』

助成事業の報告

■ 平成27年度(第2次)助成事業一覧

| 事業名 | 団体名 | 実施場所 |
|---|--------------------------|-------------------------|
| 姪浜を次のステージへ ～空き店舗を再生・拠点とした姪浜 ネクスト推進事業～ | 唐津街道姪浜 まちづくり協議会 | 福岡県福岡市西区 |
| 『まちの駅きくち』創成事業 | 非特定営利活動法人 きくち桜会 | 熊本県菊池市 |
| 三条市中心市街地まちあるきマップ 作成事業 | 燕三条まちあるき連絡協議会 | 新潟県三条市 |
| 湊町三丁目「まちの駅」 連携開発構想事業 | 湊町三丁目C街区開発 株式会社 | 愛媛県松山市 |
| 越前おおの 蔵巡りツアー開発事業 | 越前おおの中心市街地活性化 協議会 | 福井県大野市 |
| 洛西・大原野 外から見た新魅力発 掘／ポータルサイト発信事業 | 非特定営利活動法人 らくさいライフスタイル | 京都府京都市 西京区役所 洛西支所 |
| 徳山銀座・みなみ銀座地区再開 発事業 基本計画策定事業 | 徳山銀座・みなみ銀座地区 再開発準備組合 | 山口県周南市 |

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 事業名称 | 姪浜を次のステージへ ～空き店舗を再生・拠点とした姪浜ネクスト推進事業～ |
| 団体名 | 唐津街道姪浜まちづくり協議会 |
| 実施場所 | 福岡県 福岡市 西区 |

事業概要:

空き店舗を再生・活用し、地域の情報発信やコミュニティの場として整備された「まちの案内所」についてのPR強化、並びに更なる空き店舗活用の促進のため、以下の事業を実施する

- ① 「まちの案内所」PRのための講演会
- ② まちづくり実践計画書策定のための委員会
- ③ 暖簾作成
- ④ ニュースレター・まちづくり実践計画書作成

実施報告:

- ① 地域団体と協議会のメンバーを委員とした姪浜ネクスト・まちづくり行動委員会の立ち上げ
- ② 委員会会議とワークショップによるまちづくり実施計画書の検討・策定
- ③ 空き店舗活用の地域へのPRと情報発信、コミュニティの場としての案内所・事務所の活用
- ④ 景観づくり重点地区等の店舗とまちの案内所兼協議会事務所への暖簾の設置
- ⑤ 住民の手による街並み改善の事例収集と公表
- ⑥ 計画推進の参考とするための専門家の講演会の開催

H28.5.31 千里ニュータウンのコミュニティカフェ「ひがしまち街角広場」の活動紹介

H28.9.16 地域活動の自律的運営について …コミュニティビジネスの紹介…

H28.10.21 唐津街道前原宿のまちづくり

H28.11.18 姪浜西南大学まちによる地域と学生の活性化の成果と今後の展望

H28.11.25 唐津街道姪浜まちづくり協議会とあこめの会について

- ⑦ 実施計画の実践や今後の展開のあり方を学ぶ先進都市の視察

福岡市博多区の御供所地区の視察を実施



↑ ニュースレター



↑ 暖簾



↑ 講演会の様子

実施成果:

- 本助成事業をきっかけとした協議会のまちの案内所兼事務所の活用実践
 - ・まちづくり実施報告書作成・検討のためのワークショップや講演会の開催、ガイドツアーの参加者の休憩所やパネルによる地域情報の発信（「街並みよかところ見本集」の展示など）を通じて、まちの案内所兼事務所のコミュニティに開いた姪浜ネクスト推進拠点としての活用方策を探ることができた。
- 目に見える形でのまちづくり・景観づくりへの提案・啓発
 - ・「のれんプロジェクト」と「街並みよかところ見本集」は、まちづくりや景観づくりをモデル的・先行的に目に見える形で住民の方たちに示すことができた。

| | |
|-------------|----------------|
| 事業名称 | 『まちの駅きくち』創成事業 |
| 団体名 | 非特定営利活動法人きくち櫻会 |
| 実施場所 | 熊本県 菊池市 |

事業概要:

まちなかの賑わい創出・活性化を目的に、休憩機能・案内機能・交流機能・連携機能を保持する「まちの駅」(NPO地域交流センター承認事業)となる事業所を募るために以下の事業を行った。

- ①「まちの駅」勉強会
- ②「まちの駅」先進地区視察
- ③「まちの駅」PRのためのチラシ・リーフレット作成

実施報告:

| | |
|-----------------|------------------------------------|
| 平成28年6月28日 | 第1回「まちの駅」に関する勉強会 |
| 平成28年10月3日 | 第2回「まちの駅」に関する勉強会 |
| 平成28年10月29日～30日 | 地域再生の成功例である油津商店街の視察及びサポートマネージャーの講演 |
| 平成28年12月13日 | 第3回「まちの駅」に関する勉強会 |
| 平成28年12月19日 | 平成29年度における「まちの駅」事業立上げ検討会 |
| 平成29年1月5日 | 「まちの駅」立上げスケジュールの検討会 |
| 平成29年1月17日 | 他事業との共同開催の検討会 |
| 平成29年1月24日 | 「まちの駅」立上げ説明会 |



↑ サポートマネージャーの講演



↑ 先進地区視察

実施成果:

- ・ 事業の課題として、事業資金の主なものが会員の年会費と寄付金であり、活動する上で資金不足が大きな課題となっている。今回の「まちの駅」の事業開始の準備としても情報が少ないことから、成功例の自治体や地域を実際に見て、状況把握と情報等を入手したいが実行できない状況である。
- ・ 事業の成果は、「まちの駅」事業としては準備段階であり具体的な成果は表れていないが、今回の助成金で実施した実地研修を参考として、自治体（菊池市）へのアピール、事業を連携して実施したい商工会、観光協会、旅館組合及びNPO法人等への説明資料が準備できたことは大きな成果であった。
- ・ 平成28年10月の視察後に、菊池市商工観光課へ事業推進への協力をお願いしたところ、次年度からの協力を前向きに検討したいとのことである。また、この事業で競合する他団体との連携のため、他団体へ協力依頼を実施している。
- ・ 平成28年12月以降は、具体的な検討会が出来ることとなり、より実現に向けて動き出している。自治体及び各種団体においても、予算との関係もあり、実際に動くのは来事務年度からになるが、予算獲得も含めて前向きに検討してもらっている。

| | |
|-------------|----------------------|
| 事業名称 | 三条市中心市街地まちあるきマップ作成事業 |
| 団体名 | 燕三条まちあるき連絡協議会 |
| 実施場所 | 新潟県 三条市 |

事業概要:

隣接する燕市とも共同し、まちなかの地域資源や歴史文化等のまちの魅力を発掘し、周知するためにPRツール(マップ)を作成する事業を行った。

実施報告:

マップ作成にあたっては、三条歴史研究会、三条良寛会、三条歴史文化継承塾五桜会、燕三条プライドプロジェクト ツーリズムグループと協議を重ね、情報提供・確認、長岡造形大学平山教授から資料提供を受け、三条市市民活動支援センターの特定非営利活動法人NPOさんじょうの協力の下作成した。

上記の団体の多くは、燕三条まちあるきイベントでガイドツアーを実施しており、ガイドツアーの概要を掲載し、団体名を周知することにより、マップ利用者と団体の交流促進につながるよう工夫した。

- 平成28年2月29日 マップ作成会議①
- 3月10日 マップ作成会議②
- 4月4日 マップ作成会議③ 完成報告
- 4月9日～ 燕三条まちあるきイベントにて活用・配布
- 5月8日 三条マルシェイベントにて周知・配布



↑ マップ作成会議の様子



↑ 燕三条まちあるきの様子



↑ さんじょう歴史探訪まちあるきマップ

実施成果:

- ・ 4月9日からの燕三条まちあるきイベントにて、ガイドが街中を案内する際に活用し、参加者に配布した。参加者からは「まちなかの史跡などが分かりやすく掲載されているので、自分でまちあるきをするのに役に立ちそう」、「自分でまちの散策を試みよう」という声があった。
- ・ その他、中心市街地の店舗や施設等、約70か所に配布し、地域資源の周知につなげた。また、地域で開催され、まちなかを歩くことを促進するイベント「三条マルシェ」においてもマップを積極的に配布し、周知とまちの回遊性に寄与した。

| | |
|-------------|---------------------|
| 事業名称 | 湊町三丁目「まちな駅」連携開発構想事業 |
| 団体名 | 湊町三丁目C街区開発株式会社 |
| 実施場所 | 愛媛県 松山市 |

事業概要:

成立しつつある再開発事業の隣接地(中活計画区域内)において、連鎖的に行う市街地整備の事業化の検討を推進するために以下の事業を行った。

- ①完成予想図作成・事業収支検討
- ②先進地視察
- ③権利者等による勉強会開催

実施報告:

- 平成28年5月 湊町三丁目C街区 隣接・連携街区開発予想図作成
「まちな駅」連携開発構想、地権者向け勉強会開催(1回目)
- 7月 「まちな駅」連携開発構想、地権者向け勉強会開催(2回目)
- 9月 「まちな駅」連携開発構想、地権者向け勉強会開催(3回目)
- 平成28年11月～12月 「まちな駅」機能先進地視察
東京都墨田区 錦糸町「オリナス」見学・視察(事務局)
大阪市枚方市 「枚方 T-SITE」見学・視察(事務局)
- 平成28年12月 湊町三丁目「まちな駅」連携開発構想 地権者向け説明会
湊町三丁目BC街区連携開発協議会準備会 設立
- 平成29年1月 湊町三丁目BC街区連携開発協議会 設立



↑ 湊町三丁目C街区開発構想



↑ 開発予想図

実施成果:

- (1) A・B・C街区結節点となる銀天街アーケード空間をイベント広場として整備する構想案作成
- (2) 湊町三丁目BC街区連携開発協議会の発足(H28.12 準備会、H29.1 協議会設立)
- (3) 湊町三丁目C街区再開発準備組合設立(H29.3 予定) 準備の推進

「松山銀天街L字地区再開発全体協議会」及び「湊町三丁目C街区開発協議会」「⑤街区開発推進協議会」「①街区再開発協議会」の各組織が設立され、L字街区全体の再開発基本構想や各街区の事業計画立案と合意形成を進めている。平成28年12月には、松山銀天街L字地区再開発等基本計画(松山市)が策定され、今後は合意形成の進んだ街区ごとに事業着手する方針である。

これらの活動を通じて、再開発事業等による地域再生の必要性・有用性を確認し、C街区内の具体的プランニングや事業採算性について情報共有してきた。さらに、本事業ではC街区に加えて隣接地区等の地権者との情報共有や、連鎖的・連続性を持たせた開発構想等の議論を行った。

今般、「湊町三丁目BC街区連携開発協議会」が設立され、C街区開発対象地区に加え、より広範な地区における具体的再開発構想の企画立案に着手し、行政と連携し街なか再生を進める動機作りが実現したと考える。

| | |
|-------------|------------------|
| 事業名称 | 越前おおの 蔵巡りツアー開発事業 |
| 団体名 | 越前おおの中心市街地活性化協議会 |
| 実施場所 | 福井県 大野市 |

事業概要:

昨年度末で終了した第2期中活計画を継承し、任意団体となった中活協議会が独自に行う活性化方策として、まちなかの地域資源や歴史文化等のまちの魅力を発掘し、周知するために行う事業を行った。

- ①蔵巡りツアー企画検討
- ②蔵巡りツアー企画検討のための委員会
- ③蔵巡りツアーPRのための冊子作成

実施報告:

- ①企画委員会の実施
 - ・1回目：平成28年4月18日 2回目：平成28年5月25日
- ②蔵めぐりマップの作成と配布
 - ・1,000枚
- ③参加店舗による味噌、醤油の体験
 - ・2事業者（山元醤油醸造場、野村醤油株）
- ④体験者によるアンケート調査の実施
 - ・有効対象者30名



↑味見用の小皿・マドラー



↑味噌汁試飲セット



↑蔵めぐりマップ

実施成果:

・体験者からは、大野の味噌を味わえるとのことから概ね好評を得た。体験者へのアンケート結果から、以下の意見を頂き、今後の改善につなげていく予定。

＜アンケート結果から＞

- しょうゆの味見が出来るのは良いとの評価を得たが、小皿に醤油を入れて使い捨てマドラーにて味見をするのは、一回ずつマドラーを交換するため、もったいないという意見もあった。
- 改善策として、使い捨てスプーンに変更し、醤油さしより垂らして味見する方式に変更予定。
- 中心市街地に6か所ある湧水スポットより水を汲み、味噌蔵に設置してある湯沸かしスポットでお湯を沸かし、好きな味噌で味噌汁が飲めるコンテンツが好評だった。しかし、湧水スポットと味噌蔵の往復が面倒との指摘もあった。

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 事業名称 | 洛西・大原野 外から見た新魅力発掘／ポータルサイト発信事業 |
| 団体名 | 非特定営利活動法人 らくさいライフスタイル |
| 実施場所 | 京都府 京都市 西京区 |

事業概要:

既に既成市街地化した洛西ニュータウンにおいて、まちなかの地域資源や歴史文化等のまちの魅力を発掘し、周知するために以下の事業を行った。

- ① 街巡りツアー企画検討
- ② 街巡りツアーをPRするポータルサイト並びに冊子作成

実施報告:

- ① 魅力再発見ツアーの開催
開催回数：8回
参加人数：計38名
- ② 魅力再発見に伴う実施計画の検討
 - ・らくさいマップを発行（9月発行：1万部）
 - ・王道3コース+新コース設定
 - ・推進のための年間日程作成
- ③ 「まちのポータルサイト」で地域力を発信
 - ・「まちのポータルサイト」の理解促進のための説明会開催
 - ・洛西の「ライフスタイル発信型ポータルサイト」の開発
（地域住民の興味を引き込む仕掛け優先）
 - ・ポータルサイト「らくさいトコト」（12月1日発信：イベント・くらし情報等）



↑らくさいマップ



↑ポータルサイト「らくさいトコト」

実施成果:

- ① 魅力再発見ツアーの開催
 - ・38人の「外から見た観光客」の声を通じ、今まで地元が気付かなかった地域の魅力を引き出すことができた。
- ② 実施計画について
 - ・地域特産、地域行事の季節要因を一覧表にすることで、おもてなし時期が明確になった。
 - ・地域の魅力であるタケノコをいかし、「たけのこ朝掘り」体験を実施した。この結果、参加者に満足頂き、協力農家さんの増加につながった。
- ③ ポータルサイトの発信
 - ・地域住民に自分たちの地域を知ってもらふコンテンツを優先し、ポータルサイト「らくさいトコト」を立ち上げた（H29には観光情報の充実を行う予定。）。

| | |
|-------------|----------------------------|
| 事業名称 | 徳山銀座・みなみ銀座地区再開発事業 基本計画策定事業 |
| 団体名 | 徳山銀座・みなみ銀座地区再開発準備組合 |
| 事施場所 | 山口県 周南市 |

事業概要:

中活計画区域内において、地権者有志が発意し行う市街地再開発事業の基本計画策定を行った。

実施報告:

(基本計画策定状況)

- ・平成28年 6月 基本計画原案 取りまとめ完了
- ・平成28年 8月 事業協力予定者公募(応札3企業体) [選定委員会開催(計4回)]
- ・平成28年11月 臨時総会 開催
- ・平成28年12月 基本計画(案) 取りまとめ完了

(地権者協議・行政協議開催状況)

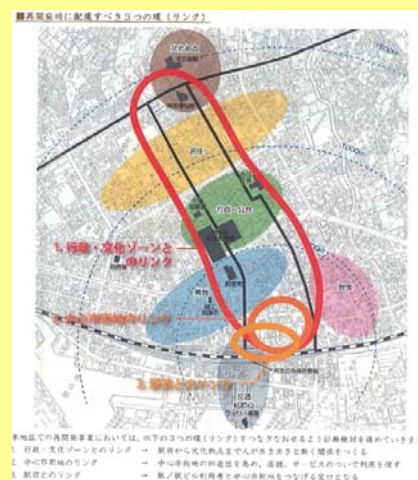
- ・理事会 6回、懇談会 6回、行政との協議 9回(中心市街地整備課、都市政策課、道路課)

(勉強会開催状況)

- ・平成28年 4月18日 商業施設設計画案について勉強会実施
講師:(株)都市デザイン 田中滋生氏、(株)DEKITA 小野寺宗貴氏
- ・平成28年12月13日 中活協議会と周辺マーケットポテンシャルについて勉強会実施
講師:(株)BAC 久保隼弥氏、(株)都市デザイン 田中滋生氏



↑臨時総会の様子



↑基本計画原案

実施成果:

事業評価の指標として掲げた下記①～③の項目のそれぞれの成果は以下のとおり。

- ① 再開発基本計画の完成
 - ・12月の段階で基本計画(案)を取りまとめ、市担当部署に提出。
- ② 勉強会出席者数の向上
 - ・当初3回の勉強会を予定していたが、地権者が一堂に会するスケジュール調整が困難であったため、事務局の訪問による情報提供・ヒアリングを重点的に実施。勉強会としては、主に地権者を対象とした商業施設設計画に関する勉強会を実施(参加者6人)。
 - ・中活協議会の下部組織であるタウンマネジメント会議と地権者による勉強会を実施。
- ③ 地権者同意数の向上
 - ・当初目標 同意数6グループ → 14グループ 全14グループを目指した。
 - ※この間、エリアの見直し(拡大)を行い、全16グループとなった。
 - 事業実施前:組合員数10グループ/14グループ
 - 事業実施後:組合員数12グループ/16グループ

